

鯖江市議会報

第247号

令和5年
11月24日発行

【今号の表紙】

高嶋 幸平さん

平成橋（平井町から撮影）

■ 3つの特別委員会が始動！	2
■ 第442回 9月定例会	3
■ ここが聞きたい！一般質問	8
■ 委員会で先進地を視察しました	13



鯖江市議会を
もっと詳しく！

3つの特別委員会が始動！

議会等改革推進特別委員会（6名）

「市民に開かれた議会の確立に向けた議会等改革」の手法を検討するとともに、議会基本条例第9条で規定されている『議会モニター』の設置について、調査・研究等に取り組んでいきます。



委員長	福原 敏弘
副委員長	加藤 優
委 員	大門 嘉和
委 員	林下 豊彦
委 員	東井 忠義
委 員	土田 光

NEW さばえの未来に向けた特別委員会（6名）

市が現在策定中である「(仮称)鯖江市将来ビジョン」について、内容の検討や将来を見据えた建設的な提案を行い、鯖江市の未来像を探求していきます。



委員長	帰山 明朗
副委員長	三村 尚司
委 員	木村 愛子
委 員	西野 有香
委 員	堀川 秀樹
委 員	田中 良幸

決算特別委員会（18名）

総務・産業建設・教育民生の3つの分科会に分かれ、前年度の予算の執行が適切に、公平かつ効率的、合理的に行われたかを審査します。

なお、令和4年度の決算の認定は、12月議会で採決されます。



委員長	遠藤 隆
副委員長	江端 一高

委 員	玉邑 哲雄	委 員	末本 幸夫
委 員	木村 愛子	委 員	帰山 明朗
委 員	福原 敏弘	委 員	空 美英
委 員	大門 嘉和	委 員	林下 豊彦
委 員	酒井 友季子	委 員	東井 忠義
委 員	西野 有香	委 員	堀川 秀樹
委 員	土田 光	委 員	加藤 優
委 員	田中 良幸	委 員	三村 尚司

特別委員会とは？

議会が、特定の問題について集中的に審議するために設置する委員会です。



予算・決算議案のほか、複数の常任委員会の枠を超えた案件や自治体が抱える重要な問題などについて、調査や審査を行います。

さばえの未来に向けた特別委員会でワークショップを開催しました！

10月30日に、「めがねのまちさばえの未来を語ろう」をテーマに、議員対象のワークショップを開催しました。

3班に分かれ、鯖江市の「宝」と「課題」は何か、課題をどのように解決するか、鯖江市の将来像などについて意見を出し合いました。（下記は意見の一部です。）

鯖江市の宝

- ・コンパクトシティ
- ・西山公園などの自然

鯖江市の課題

- ・少子化対策が子育て支援に偏っている
- ・社会インフラなどの老朽化
- ・担い手不足

鯖江市の将来像

- ・住民サービスを充実して、人口増
- ・時代の変化に合わせ、目的を明確にした政策効果の高い施設や社会インフラの整備
- ・人と人のつながりを作り、魅力あふれる人を増やす



第442回 9月定例会

【会期】 8月30日～9月22日(24日間)

【議決内容】 市提出議案5件を可決し、陳情1件を採択したほか、議員提出議案1件を可決しました。
3つの常任委員会の審査内容は、p.5～p.7に、全議案の議決の詳細は、p.15に記載しています。

〈令和5年度 一般会計9月補正予算案を審査〉

3億8,600万円

嚮陽会館複合交流施設 整備事業

2,000万円



ホール機能を残しつつ、NPOセンターや屋内遊戯場機能を加えた施設としてリニューアルするための基本計画を策定する。⇒p.5

移住就職支援事業

2,300万円



市への移住促進を図るため、一定の要件を満たした移住者に対し補助金を支給し、移住に係る費用の負担を軽減する。

西山公園 イルミネーション事業

400万円



昨年設置した中央広場に加え、イベント広場と嚮陽会館側の大階段に新たにイルミネーションを設置する。⇒p.6

インバウンド観光 コンテンツ造成事業

700万円



ご当地グルメの開発やモニターツアーの実施、観光ガイドの育成などを行い、国内外からの観光客の受入れ環境を整備する。⇒p.6

みんなで実践！ 3R鯖江事業

220万円



地域おこし協力隊インターン制度を活用し、生ごみ分解処理容器の使用モニターに対し、アフターフォロー等の支援を行う。

鯖江市高校生自転車 ヘルメット購入費助成事業

90万円



自転車の利用率が高い高校生に対し、ヘルメットの購入費のうち1,000円を助成し、着用率の向上を目指す。⇒p.7

保育士確保・定着支援事業

780万円



保育士のフォローアップ体制の整備や若手保育士からの業務改善の提案、メンタルヘルスケア等の対応などに対する支援を行う。⇒p.7

結婚新生活支援事業

2,800万円



経済的な理由により、結婚に踏み切れない方の結婚を後押しするため、結婚に伴う新生活初期費用などの支援を行う。

請願・陳情とは？

請願・陳情の概要

地方公共団体等に対し、困っていることや意見・要望について、公的な機関へ改善などを要望するよう申し出ることです。議員の紹介がないものを陳情、紹介があるものを請願と呼びます。



陳情
第2号

保育士配置の最低基準の引き上げと、
保育予算の大幅な増額を求める意見書の採択を求める陳情書

陳情の理由

日本の保育所における職員配置の最低基準は、長年見直されておらず、世界的に見ても低い状況である。このことは、厳しい労働条件に直結し、子どもが亡くなる痛ましい事故や、保育士による事件の遠因になっているとの指摘もある。

劣悪な保育士配置基準を引き上げるためにも、保育予算の大幅な増額が必要であることから、国に対して、保育士配置の最低基準の引き上げと保育予算の大幅な増額を求める。



主な意見



- ・9月定例会においても保育士の待遇改善が議案として上げられており、保育士の確保が目的の一つとなっている。保育士の働き方改善のためには、現状の基準を見直し、より多くの保育士によって子どもを見ることが、保育士にとっても、子どもにとっても安心・安全を確保するために必要なことである。
- ・保育予算を増額し、保育士の労働条件を改善し、より多くの保育士を採用することが、出生率の上昇や、人口減少対策に結び付くことにもつながる。



採択



市会案第5号 保育士配置の最低基準の引き上げと、 保育予算の大幅な増額を求める意見書について

2022年の出生数は約77万人で、統計を取り始めた1899年以降、初めて80万人を割り、過去最少の水準となった。背景のひとつに、仕事と子育てを両立できる環境整備の遅れ、子どもの権利を守る制度の不備など、乳幼児期の保育環境や制度の問題があげられる。

日本の保育所の職員配置の最低基準は、1、2歳児は1967年から56年間、4、5歳児は1948年に基準が定められてから75年間一度も見直されていない。世界的に見ても低い基準は厳しい労働条件に直結し、子どもが亡くなる痛ましい事故や、保育士による事件の遠因になっているという指摘もある。

本年4月に発足したこども家庭庁の予算に、4、5歳児の配置を30対1から25対1にするための補助が盛り込まれたが、対象となる施設は、定員が121人以上で、保育士の平均勤続年数が12年以上が条件で、当てはまる施設は全保育園のわずか4%しかない。

OECD調査によると、子ども・子育て支援に関わる公的支出(2017年)は、日本がGDP比1.79%で、加盟国平均(2.34%)以下。出生率を引き上げたフランス(3.6%)や英国(3.23%)の半分程度に過ぎない。岸田首相は、年頭の会見で「異次元の少子化対策」を実現させると宣言し、子ども・子育て予算の倍増をめざすとしている。しかし、2023年度のこども家庭庁の予算は4兆8,104億円で、22年度に厚生労働省や内閣府が計上した関連予算と比べて2.6%の増額に留まっている。

公的支出のGDP比が低い国ほど出生率が低いと言われており、保育士配置の最低基準を引き上げるためにも、保育予算の大幅な増額が必要である。

よって、国におかれでは、必要な財源を確保し、下記の事項について実現されるよう強く要望する。

- 1 保育士配置基準の引き上げを行うこと
- 2 保育予算を大幅に増額すること

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和5年9月22日

(提出先) 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣、文部科学大臣、内閣府特命担当大臣(こども政策)

総務委員会

【議案第66号】 令和5年度鯖江市一般会計補正予算 第3号

嚮陽会館を複合交流施設としてリニューアルするの？

2,000万円

説明 嚮陽会館は建設から39年が経過しており、安全面に問題が出始めている。また、コロナ禍の影響により利用者数の減少が続いているため、施設の長寿命化対策と、市民の需要に合った施設とするための検討が必要となった。

嚮陽会館のホール機能を残しつつ、同じく老朽化しているNPOセンターなど、市民から要望の高い屋内遊戯施設の機能を加えた複合交流施設としてリニューアルするための基本計画を策定する。

問 整備費2,000万円のうち、約1,870万円が計画策定にかかる費用になるが、ほかの施設の場合と比べると高額ではないか。

答 今回の施設整備は、長寿命化工事と機能複合化工事の2つの側面がある。施設全体をくまなく調査した上で改修方針の決定や、市民や各種団体の要望とのすり合わせも重要である。

【議案第66号】 令和5年度鯖江市一般会計補正予算 第3号

空き家を活用する事業者へのリフォーム支援とは？

700万円

説明 700万円のうち600万円は、空き家を事業用に利活用する場合のリフォーム費用の一部として補助する。補助率は3分の2で、200万円を上限とし、3件分を想定している。

問 募集開始の時期はいつか。また、4件以上の申請があった場合はどう対応するのか。

答 募集は9月25日からの予定である。現在3件の問合せがあり、4件以上の申請があった場合は、申請内容を精査した上で抽選することを想定している。



空き家を事業用にリフォーム！

また、検討委員会から出された「観光」という要素や、県内外から人を呼び込むといった提案を取り入れた計画とするため、経験や実績が豊富な県外の建設コンサルタントへの委託も視野に入れた金額となっている。

問 基本計画の策定に、市民が直接意見を伝えることはできるのか。

答 しかるべきタイミングで、パブリックコメントの実施を予定しているが、パブリックコメント自体が知られていない、または実施の情報が伝わっていないという意見も寄せられている。

そのため、SNSを活用するなど、方法を工夫することで、幅広く市民の声を聞きたいと考えている。



屋内遊戯施設の機能を加えた複合交流施設としてリニューアル！

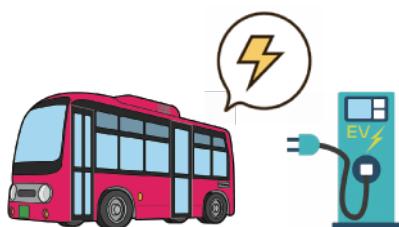
【議案第77号】 財産の取得について

コミュニティバスにEV(電気車両)を導入する考えは？

約1億2,319万円

説明 コミュニティバス8台のうち、平成22年3月に購入した小型のノンステップバス5台の入札を実施したところ、1億2,318万5,302円で落札された。来年3月の納車に向けて手続を進める。

意見 車両の主流が、ガソリンからEVに変わろうとしている。バスについても、県内他市ではEV車両の導入など、新たな取組を実施している事例があるため、次回の更新の際にはEVなどの検討をしてほしい。



コミバスにEV車両導入の検討を

産業建設委員会

【議案第66号】 令和5年度鯖江市一般会計補正予算 第3号

西山公園のイルミネーションを新たに設置するの？

400万円

説明 昨年の中央広場に加え、イベント広場と嚮陽会館側の大階段に、新たにイルミネーションを設置する。また、提案型市民主役事業による噴水前広場のイルミネーション事業「ファミリンにしやま」と、街路樹のイルミネーションも同時に点灯させ、回遊性を持たせる。なお、点灯期間は、10月28日から12月25日までを予定している。

問 電気料金が高騰する中で、イルミネーションを新たに設置することについての考えは。

答 電気料金高騰の時期であるため、実施期間や点灯時間について協議をしていく。



電気料金高騰に配慮した
イルミネーションの設置を

【議案第78号】 令和5年度鯖江市一般会計補正予算 第4号

観光客の好みに合わせたご当地グルメの開発とは？

700万円

説明 北陸新幹線 福井・敦賀開業が迫る中、国内外からの観光客の好みにマッチした受け入れ環境を整備し、市内観光の魅力向上を図る。

国の補助事業を活用し、ご当地グルメの開発やモニターツアーの実施、観光ガイドの育成のほか、当初予算で計上した観光パンフレットのリニューアルを含めた事業である。

問 インバウンドの範囲は広く、国やニーズも様々だが、ターゲットや好みなどの研究は行っているのか。

答 観光庁や民間会社のデータによると、近年の県内のインバウンド傾向としては、関西、中部、小松空港を利用する台湾、香港、中国などのアジア系の観光客が多く、今後は新幹線を利用した欧

【議案第66号】 令和5年度鯖江市一般会計補正予算 第3号

広域定額タクシーの運行に向けた課題は？

400万円

説明 北陸新幹線 福井・敦賀開業後における観光客の利便性の確保を目的に、鯖江市と越前市の連携による広域定額タクシーの運行を行う。

旅行者を対象に、市をまたぐ観光地など各スポット間のタクシー料金を定額1,000円とし、実際の利用料金との差額を県と着地の市で負担する。

問 タクシーの確保が難しい状況だが、台数不足を緩和するための対策はあるのか。

答 タクシー事業者へのヒアリングにより、時間帯による台数不足が指摘されている。

今回はあくまで実証事業であるため、結果をデータ化し、事業者や越前市および今後参加の意向を示している自治体とともに課題解決に向けて協議し、来年度に反映させていく。



タクシーの台数不足を考慮した実証事業を

米からの訪日客の増加が見込まれている。また、データより、消費額が大きいアメリカや中国の訪日客をターゲットとして考えている。

今後、ワークショップやセミナー等を開催し、意見交換を行いながら、研究していく。

問 以前にB級グルメを開発し、普及を目指したが定着しなかった。今回のご当地グルメの開発は、どのような方向性を考えているのか。

答 各飲食店が共通のコンセプトを持ち、各店舗の味をより魅力的に打ち出すグルメを開発する方向で進めている。



ターゲットやニーズを研究した観光誘客を

教育民生委員会

【議案第66号】 令和5年度鯖江市一般会計補正予算 第3号

高校生が自転車用ヘルメットを購入する費用を助成するの？

90万円

説明 令和5年4月1日の改正道路交通法施行に伴い、自転車運転者のヘルメット着用が努力義務化されたが、多くの高校生がヘルメット着用に至らず、自転車による交通事故が増加傾向にある。

未来を担う子どもたちの大切な命を守るために、自転車利用率が高い高校生に対し、ヘルメット購入費用として1,000円助成することにより、ヘルメット着用率の向上を目指す。

問 高校生がヘルメットを着用しない理由に、髪型が乱れてかっこ悪いことや、校則で定められていないことなどがあるが、1,000円助成するだけで、ヘルメットを着用するようになるだろうか。それよりも、ヘルメットを着用することの大切さを教育する必要があるのではないか。

答 ヘルメットを着用することで命を守る大切さを啓発していくことは、とても重要なことである。事業と並行して、交通安全講習などの啓発を行っていく。



命を守るために
ヘルメットの着用を

また、鯖江市が県内の他自治体に先駆けて取り組むことで、全県的な動きとなるよう、声を上げていきたい。

【議案第66号】 令和5年度鯖江市一般会計補正予算 第3号

西山公園野球場に吉田選手のモニュメントができるの？

200万円

説明 現在メジャーリーグで活躍している吉田正尚選手が、中学生時代に練習で利用していた西山公園野球場にスポットを当て、記念のモニュメントを設置する。野球少年やファンに応援メッセージを記入した木製ボードを結びつけてもらうことで、吉田選手と本市との縁を全国にPRし、観光スポットとなるよう取り組む。

【議案第66号】 令和5年度鯖江市一般会計補正予算 第3号

保育士が働きやすい職場づくりのための支援は？

780万円

説明 私立保育所で勤務する小学3年生までの子を持つ保育士等を支援する体制整備への助成や、精神科医・臨床心理士による相談対応等にかかる費用の補助を行う。また、公立保育所の若手保育士からの提案を受け、生活発表会用に衣装ベース(出来合いの衣装)を購入し、高校生らとともに衣装制作等の活動を行う。また、防水耐衝撃デジタルカメラ等を購入し、保護者に園児の普段の様子を発信し、安心や理解を得ることで、保育士が保育に専念できる環境を整える。

問 高校生と一緒に衣装作りをするとなると、保育士による説明や指導が必要になり、逆に負担が増えるのではないか。

答 衣装作りはモデル園において実施する予定である。一緒に衣装を作ることで、高校生に保育の魅力を知ってもらい、保育士になりたいと思える人を増やしていく。将来的には保育士不足の解消につなげていきたく。



保育士の不足解消につながる支援を

問 応援メッセージを書き残すだけでは、観光地とするのは難しいのではないか。モニュメント以外に工夫できることははないのか。

答 モニュメント設置を計画した際に、吉田選手の画像等を使用できないか検討したが、権利の関係で断念した。ただし、名前の使用は問題ないため、モニュメントの上部に、この野球場から巣立つていった吉田選手を含むプロ野球選手などの説明文を掲載する予定である。



西山公園野球場を観光スポットに！

ここが聞きたい！

一般質問

一般質問とは…

市の様々な課題等について、議員が市長や理事者に対して考え方を聞くものです。議員は政策提言も含めて質問することができ、内容は自由です。



ページ	質問者	・ 質問内容	ページ	質問者	・ 質問内容
p.8	みむら 三村 尚司 議員	・児童センターの運営状況について		とうい 東井 忠義 議員	・政治倫理と市長政治倫理条例について ・オンデマンド交通について
p.9	かとう 加藤 優 議員	・帯状疱疹ワクチン接種の助成について ・プランコの安全柵設置について	p.11	はやしした 林下 豊彦 議員	・災害に対する備えについて ・企業誘致について
	にしおの 西野 有香 議員	・誰ひとり取り残さないサポート体制の構築について ・全天候型の遊び場整備について		つちだ 土田 光 議員	・物価高騰の中での子育て世代への支援について
p.10	さかい 酒井 友季子 議員	・移動期日前投票所(選挙バス)の導入について	p.12	だいもん 大門 嘉和 議員	・7月の大雨による水害について
	ほりかわ 堀川 秀樹 議員	・河和田川改修工事の状況について ・東部地区の企業誘致について		かえりやま 帰山 明朗 議員	・嚮陽会館の市民活動交流センターと屋内遊戯場との複合交流施設整備について
	ふくはら 福原 敏弘 議員	・マイナンバーカード申請について ・神通川の調査目的について		たなか 田中 良幸 議員	・鯖江駅東口の整備の目的について ・西山公園エリアのにぎわい創出について
	えばた 江端 一高 議員	・本市の連携事業について ・小学校のプール授業の在り方について	p.13	きむら 木村 愛子 議員	・中山間地のまちづくりについて

一般質問を見てみよう！

市役所の議場で

鯖江市議会は、市役所の議場で傍聴することができます。



こしの都TV9チャンで

こしの都TV9チャン(旧:丹南ケーブルテレビ)で生中継・録画放送を行っています。



YouTubeで

YouTubeの鯖江市議会チャンネルで、動画を配信しています。
＊各議員の質問欄に掲載のQRコードを読み取ることで、一般質問を視聴できます。



会議録で

鯖江市議会の会議録検索ページから、会議録の閲覧ができます。
＊掲載までに時間がかかる場合があります。順次掲載いたしますので、ご了承ください。



児童センターの運営状況について

問 施設の特性上、地域の公民館としても使用されていると考えられるが、安全管理として防犯カメラ等は設置しているのか。また、今後、設置の予定はあるのか。

答 現在のところ設置していないが、今後、各児童センターの意見も聞きながら検討していく。

問 施設・設備の老朽化による、今後の改修予定は。また、今年のような猛暑が来年以降も続くと思われるが、エアコンの設置状況は。

答 毎年、児童厚生員と施設を点検シートに基づきながら点検し、緊急性の高いものから修繕を行っている。また、個別施設計

画に基づき、老朽化や緊急性を考慮しながら、順次改修を実施している。

エアコンについては、学習や読書をする場所など、冷房設備が整備されている場所もあるが、遊戯室には整備されていない状況である。利用する子どもたちの熱中症予防として、扇風機やスポットクーラーの設置、小まめな水分・塩分の補給などの対策を行っているが、今後は遊戯室の空調設置についても検討していく。

そのほかの質問

- ・部活動の地域移行について
- ・洪水災害対策について



児童センターの安全対策を

三村 尚司 議員





公明党
加藤

優議員



SABA
西野有香議員



ふくいの党・鯖江
酒井友季子議員



帯状疱疹ワクチン接種の助成について

問 帯状疱疹ワクチン接種の周知と推進を行っているのか。

答 任意の予防接種のため、積極的な周知や勧奨は行っていないが、問合せがあった際は、かかりつけの医療機関に相談するよう説明している。今後、帯状疱疹をはじめ、任意接種となっている感染症については、発症しやすい年代を中心に周知することが重要であるため、ホームページなどにより市民への情報提供に努めていく。

問 接種の助成は考えているか。

答 全国的にも接種費用の一部、または全額を助成する自治体が増えているため、本市としても、国の動向や他自治体の状況を注視しながら、適切に対応していく。

プランコの安全柵設置について

問 安全柵の設置についての考えは。

答 市長 遊具などの公園施設については、公園施設長寿命化計画に基づき更新を行っているところであり、安全柵が未設置のプランコについても、本体の更新に合わせ、利用状況や安全点検の結果を見ながら、優先順位の検討を行い、計画的に設置していく。公園を安全で楽しい遊び場として利用いただくため、日常の点検や定期点検を通じて、事故を未然に防ぐ予防保全に努めていく。



安全柵が未設置のプランコ

誰ひとり取り残さないサポート体制の構築について

問 ゆくりな事業は、国の交付金を受けた単年度事業であるが、次年度以降の、市の予算によるサポート体制維持についての考えは。

答 財源の有無に関わることなく、継続的かつ効果的な事業体制を確保する中で、全ての市民にきめ細かな支援が行き届くよう、支援体制の強化を図っていく。

問 市内各小中学校において、相談サポートの周知も兼ねて、対象年齢の子どもたちが通常使用するトイレの個室内への生理用品常設を提案したいが、考えは。

答 市内小学校の高学年が利用する女子トイレや中学校の女子トイレ、チャイルドセ

ンターなどに試験的に生理用品を配置し、利用状況を検証した上で、次年度以降の実施に向けた取組の参考としていく。

全天候型の遊び場整備について

問 これまでに集まった意見や提案への対応と、今後の計画は。

答 アンケート等の結果から、多くの方が全天候型の遊び場を希望しており、整備に対する意見や要望は多岐にわたると認識している。9月定例会に嚮陽会館複合交流施設整備基本計画策定の予算を計上しており、計画策定の過程において意見や要望等をしっかりと反映させてていきたい。



R4年度に実施した
さばえ遊び場フェス

合などの議論が出た場合に検討したいと考えている。

なお、特定の障がいをお持ちの方や要介護5の有権者については、郵便による不在者投票の制度があるため活用してもらいたい。また、高校における移動期日前投票所については、市外在住の生徒との不平等感や、投票権の有無による混乱等が懸念されるため、慎重になる必要があるが、若い世代の選挙啓発につながることから、他自治体の事例を参考に研究していきたい。



移動期日前投票所の導入を

移動期日前投票所(選挙バス)の導入について

問 移動期日前投票所は、自宅から投票所まで距離がある方や車を持たない方、足の不自由な方などのいわゆる交通弱者の方々にとって大変有難いものである。現在の期日前投票所は、市役所とアル・プラザ鯖江の2か所のみであるため、移動期日前投票所を導入することで投票率の向上が期待でき、他県では実績もある。さらに、高校にも巡回させることで、若年層の政治参加を促し、主権者教育にもつながると考えるが、導入についての考えは。

答 本市は、投票区が比較的コンパクトであり、各投票所がほぼ中央部の適切な場所に位置することから、今後、投票区の統廃



堀川
秀樹
議員



河和田川改修工事の状況について

問 福井豪雨を体験した市民の中には、20年以上たった今でも、雨が降ると心配で眠れない人がいる。一日も早い天神川までの改修を希望するが、現在の進捗具合は。

答 市長 福井豪雨以来、県に対して強く要望しており、平成16年度には鞍谷川の河川改修に着手し、平成28年度には服部川合流点および河和田川の落井町中橋までの区間の整備を完了させた。さらに、河和田町の天神川合流点までの区間の早期事業化について、引き続き県に強く要望している。今年度は、落井町中橋から血ノ川合流点



河和田川の増水



福原
敏弘
議員



マイナンバーカード申請について

問 マイナンバーカードを申請したが、受け取りに来ない市民への対応は。

答 8月末時点での未交付者は1,316人である。未交付者には、最初の交付通知からおおむね6か月をめどに催促の通知をしており、その後も受け取りに来られない場合は、再度督促の通知を送付している。マイナンバーカードは公的な身分証明書となり、住民票や税関係の諸証明がコンビニ等で、夜間や休日でも交付が受けられる等の大きな利便性がある。また、利活用の範囲がさらに広がることが想定されるため、利点を積極的にPRしていく。引き続き未交付者への啓発や、臨時交付窓口の開設等、交付体制を整えていく。

までの区間において、令和24年度までを整備期間として事業化された。上流の血ノ川合流点から河和田町の天神川合流点までの区間の事業化についても、引き続き、県に対しても強く要望していく。

東部地区の企業誘致について

問 企業を誘致することで、東部地区の人口減少に歯止めをかけられるのではないかと考えるが、現在の状況は。

答 県などから工場適地の照会がある都度、候補地の一つとして紹介しているが、大半が工場等の建設が制限される農地であり、農地以外の用途で使用する場合に行う手続等に時間がかかるため、工場立地につながっていない。今後、具体的な相談があつた場合は、候補地の状況を丁寧に説明し、企業誘致につながるよう努める。

神通川の調査目的について

問 神通川の調査の目的と進め方は。

答 近年、神通川の被害頻度が高くなっているため、現況河川全域、延長約4キロメートルにおいて、現地の測量および状況の調査を行う。河川全域における現況流下能力の検証を行うとともに、合流先の和田川を管理する県とも協議しながら、治水上の課題を整理し、今後の治水対策等について検討していく。



神通川の越水



江端
一高
議員



本市の連携事業について

問 企業や大学、団体などと行う連携事業は、本市の人口減少対策にどのような効果を發揮するのか。

答 連携事業の参加者の中から、本市への就職や移住に結び付いた事例が数多く見られており、一定の効果があると考えている。また、若者がまちづくりに積極的に参加し、自分たちのまちは自分たちでつくるという誇りやふるさと愛を醸成することで、将来のUターンや地元企業への就職などにつながり、人口減少抑制に効果があると考える。

問 連携事業は、本市の魅力の一つである市民力の向上に結びつくのか。

答 市長 取組などを通して企業や大学が持つ知的、人的資源を活用することで、地域の問題解決や活性化に向けた市民のスキル向上の契機につながると考える。連携事業を積み上げていくことで、市民力の向上と活力あるまちづくりにつながると考える。

小学校のプール授業の在り方にについて

問 市民プールを小学生のプール授業に活用していくべきではないか。

答 教育長 市民プールは、屋外プールとして、25メートルプールと幼児用プールの機能性を高めて改修する予定となっており、完成後には、鰐江東小学校をはじめ、2、3校の水泳学習を実施したいと考えている。



東井
とつい
市政新風会
しぜいしんふうかい
忠義
ただよし
議員
ぎいん



政治倫理と市長政治倫理条例について

問 市長が、新ごみ焼却施設等整備・運営事業の入札に関係する業者と会食をしたことは、職務関係者との会食を禁止する市職員倫理規程に照らして問題であり、政治倫理上問題があるのではないか。市政への信頼が薄らいでいる今こそ、市長政治倫理条例を制定してはどうか。

答 市長 入札絡みの会食ではなく、不正なことは一切行っていないが、市民に心配をかけたことは深くおわびし、今後は不信を招くような行為は慎んでいく。

市長政治倫理条例の制定については、市民の思いや近隣自治体の事例などを踏まえ、研究していく。

オンデマンド交通について

問 公共交通の充実やオンデマンド交通の実施を求める意見が多いが、検討状況は。

答 コミュニティバスは、令和4年度から8年度までを計画期間とする鯖江市地域公共交通計画に基づき、運行ルート、バス停時刻を定めた運行方式で運行しており、本市としては、バス運行の維持を最優先に考えている。

近年、多くの自治体がコミュニティバスからオンデマンド交通への転換を図っていることを踏まえ、他市町の取組や課題等について情報収集し、研究していく。

意見 オンデマンド交通の早急な実現を要望する。



林下
はやしだ
新清風会
しんせいふうかい
豊彦
とよひこ
議員
ぎいん



災害に対する備えについて

問 指定避難所に避難した市民の意見や要望を今後に生かすよう、昨年の9月定例会で要望したが、その後の取組は。

答 利用者の意見の中に、毛布の貸出しや冷房設備の改善についての要望があったことから、避難施設の環境改善を進めていく。また、避難所開設当初は物資が十分に提供できないため、食料や飲料水、毛布などは各自で準備してもらえるよう周知を図る。

利用者の意見集約のためのアンケートについては、避難所運営マニュアルに掲載し、避難所の必携品に備え付けて実施していく。

意見 避難者の意見を反映して、より良い避難所運営をお願いする。

企業誘致について

問 企業誘致の現状と取組は。

答 市内各所の工場や事務所の適地情報の集約および助成制度の整備を行い、企業ニーズに合った情報を提供し、IT企業を中心とするサテライトオフィスの誘致や市内既存企業の流出防止、市内への工場移設や増設を中心とした企業誘致につなげている。また、企業誘致フェア等にも出展している。実績としては、令和4年度では4社、今年度では2社が操業開始、または開始を予定している。

意見 工業団地等の造成による受入態勢を整え、長期のビジョンを持ちながら企業誘致に取り組んでいただきたい。



土田
つちだ
さばえ結の会
ひかる
議員
ぎいん



物価高騰の中での子育て世代への支援について

問 新型コロナウイルス対策として、小中学校の給食費を令和2年度では無償化し、令和3年度、4年度では子ども1人当たり半額相当の月額2,500円の補助をしている。また、今年度では、物価高騰対策として1人当たり月額1,000円の補助をしているが、行政として感じた効果や評価および手応えはあったのか。また、今後、継続する予定はあるのか。

答 新型コロナウイルス対策としての給食費補助の取組は、子育て家庭への経済支援として一定の成果を上げ、子どもたちの心の安定にもつながったのではないかと考えている。

次年度以降の補助の継続については、現時点では未定であり、今後の国や県の動向を見据えて、子育て、教育、福祉などの総合的な視点から検討していく。

意見 新型コロナウイルスは収束しつつあるが、物価高騰はいまだに収まる気配もなく、子育て世代の負担は増える一方である。育てやすい、暮らしやすい鯖江を実現するためには、支援の継続や拡充を強く要望する。



物価高騰対策として
給食費の支援継続を



市民
創世会
だいもん
しづかせいかい
大門
嘉和
よしかず
議員



7月の大雨による水害について

問 市内の水害の被害状況は。

答 梅雨前線に伴う大雨は市内全域に及び、天神川、神通川および論手川が越水したほか、道路冠水、市道、林道、農地等への土砂流出などが発生した。また、建物被害は、床上浸水が4件、床下浸水が20件、一部損壊が1件発生した。被害は河和田地区を中心、床下被害は片上、豊、北中山地区でも発生している。

問 天神川における被害の防止や軽減化のための対策は。

答 管理する県では、越水した区間の両岸の堤防の高さを検証し、地元と協議しながら、コンクリート擁壁のかさ上げや、河川

に設置されている陸閘(コンクリート擁壁の切欠き部)の閉鎖工事を進めたいとしている。さらに、河川の流下阻害となっている土砂を調査し、越水部分等を重点的に、今年度はしゅんせつを実施すると聞いている。

問 福井豪雨以後、どのような対策を講じてきたのか。

答 鞍谷川とその上流の河和田川の合流点から600メートルの河川事業と、河和田川の橋梁の改修工事を実施している。

また、土砂災害対策として、沢町の砂防が昨年度に完成し、尾花町の毘沙門川は令和6年の完成に向けて事業を進めている。今後は、上河内町の2溪流についても砂防事業を進めるよう県に要望していく。



新清風会
かえりやま
帰山
明郎
あきお
議員



嚮陽会館の市民活動交流センターと屋内遊戯場との複合交流施設整備について～この計画は市民と情報を共有・協働して丁寧に進めるべき～

問 嚮陽会館を複合化する理由は。

答 市街地に一定数の公共施設が集約する中、嚮陽会館は昭和59年供用開始の大きな公共施設・公会堂と位置づけており、現在の稼働率は低いが、シビックセンターとして機能をよみがえらせたいという思いがある。また、同施設に近接するNPOセンターが老朽化してきてることや、多くの市民からの要望が非常に強い屋内遊戯場の3つの機能を集約し、付加価値を高めた施設を目指したいとの思いから、複合交流施設としてリニューアルという基本方針をまとめた。

問 複合化による費用面のメリットは。

答 施設単独で全面改修するよりも、複合化による包括的な改修のほうが総工事費は圧縮されると考える。また、複合化により利用できる優良な交付金や地方債があり、市の持ち出しも少なくなる見込みである。さらに、運用開始後のランニングコストについても、複合化により各種基本料金や施設の維持管理費などの固定費が大幅に圧縮できるというメリットもあると考える。

そのほかの質問

- ・鯖江市将来ビジョンについて
- ・次年度に向けた中心市街地活性化計画策定について



創造
たなか
田中
良幸
よしゆき
議員



鯖江駅東口の整備の目的について

問 鯖江駅東口の整備計画の目的は。

答 鯖江駅は鯖江の玄関口および顔であり、市民や観光、ビジネス等での来訪者の利便性を低下させることができないという中で、将来のまちづくりに向け、駅の魅力や利便性の向上、駅周辺の活性化とにぎわい空間の創出につなげることを目的としており、検討委員会を立ち上げ、委員の意見を基に基本計画を策定している。

問 新聞報道などで、総工費は25億円程度になると伝わっているが、概算の工事費や内訳は算出されているのか。

答 基本計画を基に算出した事業費の概算について、25億円と報告している。現在、

構造等の調査を行っており、年内には詳細な工事費の算出ができると考える。

西山公園エリアのにぎわい創出について

問 嚮陽会館の改築を機に、西山公園エリアのにぎわい創出といった観点から、嚮陽会館や市営住宅桜町団地の跡地といった点を結んだ、面としての総合的な整備についての考えは。

答 市長 西山公園を含めた、エリア全体のグランドデザインは非常に重要であり、公園の集客力をさらに高めるために、鯖江駅から西山公園までを点ではなくて面で捉え、にぎわいを創出できるような構想を描いていく。



木村
きむら
愛子
あいこ
議員
ぎいん



中山間地のまちづくりについて

問 河和田地区の人口は、福井豪雨以降急激に減り、多い時より2,000人ほど減少している。市の人口減少対策および婚活事業の取組は。

答 鮎江市婦人福祉協議会に委託している結婚相談事業をはじめ、県や市町が構成するふくい結婚応援協議会において、マッチングシステムの活用や広域的な婚活イベントなどを行っている。また、結婚新生活応援事業として、国・県の事業を活用し、39歳以下の夫婦世帯を対象に、結婚に伴う新生活費用の補助を行っている。また、学生や若い世代を対象に、将来の様々なライフイベントに希望を描くことができるよう、セミナーや体験プログラムの実施など、結

婚や子育てについての情報提供や考える機会、場の提供に取り組んでいく。

問 耕作放棄地の現状は。利活用に地域おこし協力隊との連携などは考えられないか。

答 耕作放棄地は、市全体では約72ヘクタール、河和田地区では約23ヘクタールである。今後は、農業者の減少と高齢化等により増加する可能性がある。原因となる生産力の低下や生活環境の悪化を解消するため、県の中山間地域事業などを活用し、機械購入補助等の支援を行っている。また、地域おこし協力隊の受け入れや、県の園芸カレッジ卒業者や就農希望者への呼びかけ、農業関係者や関係団体とも協議しながら、耕作放棄地の対策や活用について検討する。

委員会で先進地を視察しました

総務委員会

10月5日(木)～10月6日(金)

【山口県山口市 小郡総合支所】

住民主導によるコミュニティ交通への支援について

山口市では、平成17年の合併による市域拡大に伴い、交通不便地域の住民の足をどう確保するかが課題となり、コミュニティタクシー事業を導入した。各地域では、住民が主体となってそれぞれの地域に適した運行スタイルや経路、ダイヤを検討し、地元の事業者に運行を委託。市は事業実施にかかる経費を補助している。



【山口県周南市】

公共施設再配置について
徳山駅前賑わい交流施設について

周南市では、平成15年の合併により市の施設数は増加したが、人口は減少傾向となる中、山口県内では最も早く公共施設の再配置に着手した。①サービス、②コスト、③量、④性能の4つの視点から長寿命化など4つの計画を策定。施設をなくしても地域にサービスは残すという観点から、地域住民とともに施設の在り方を考えるモデル事業を実施している。



議員の視察とは？



自治体が抱える課題解決のヒント等を得るために、先進的な取組を行っている自治体や施設、学校や企業などを訪問し、研修や意見交換などを行います。得られた知識や情報は、市に持ち帰り、市政の発展と向上につなげています。

鯖江市議会でも 視察を受け入れています！

鯖江市の先進的な取組について、全国各地の市町議会が視察に訪れています。



令和5年度の実績(R5.10月末現在)

- ・宮城県大和町
- ・新潟県糸魚川市
- ・富山県滑川市
- ・長野県上田市
- ・愛知県弥富市
- ・大阪府河内長野市
- ・広島県福山市

これまでの視察内容の一部

- ・鯖江市役所JK課について
- ・部活動の地域移行について
- ・異動受付支援システムについて
- ・めがねのブランディング戦略について
- ・女性が活躍しやすいまちづくりについて

産業建設委員会 10月4日(水)～10月6日(金)

【和歌山県有田市】

有田市農業次世代人材投資事業(定住型) 「AGRI-LINK IN ARIDA」について

有田市では、主産業であるみかん産業における高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加等が問題となり、2019年に㈱リクルートと連携し、新規就農の新たなモデルとして、「新規就農者」「農地提供者」「受入れ農家」間でのトライアングルのマッチングを行い、それぞれにメリットを享受できる仕組みを確立している。新規就農者は、受入れ農家にて2年間の研修を受け、技術の習得や農地・出荷先を確保し、3年目に独立する。



【和歌山県有田川町】

有田川エコプロジェクトについて

有田川町では、分別促進により高品質の資源ごみが収集できることから、資源ごみ処理費のマイナス入札化に成功している。加えて、行政施設などへの太陽光発電設置やダムを利用した小水力発電所建設による売電収入も得ており、合わせて環境対策のための基金に積み立てている。

基金は、住民向けの太陽光発電や太陽熱温水器等の設置補助、環境教育などに見える形で活用されており、循環型の仕組みを確立している。



【大阪府大東市 株式会社コーミン】

もりねき morinekiプロジェクトについて

大東市では、全国初のPPP(公民連携)手法による公営住宅の建替えおよび再開発を行っている。旧公営住宅跡地であるmorinekiエリアは、「住宅エリア」「公園エリア」「民間事業エリア(レストラン、ベーカリー、アパレルショップ等)」から構成されており、エリア内では多彩なイベントも開催され、交流の場や家族連れの憩いの場としても活用されている。

また、おしゃれなエリアとして注目されており、新たな出店や地価上昇など周辺の活性化にも影響を与えている。



教育民生委員会 10月4日(水)～10月6日(金)

【新潟県糸魚川市】

0歳から18歳までの子ども一貫教育方針について

糸魚川市では、ここで生まれ、育ち、学び成長を続ける子どもたちが、家庭、地域、学校等の連携の下、心・健康・学力のバランスが取れ、夢を持った子どもに育つことを目指し、一貫教育に取り組んでいる。適時適切な教育と、0歳から18歳まで切れ目のない支援を提供し、郷土愛を醸成することで、子どもたちが地元に誇りを持てるよう育成している。



【長野県小布施町】

町立図書館まちとしょテラソについて

まちとしょテラソは、地域住民と行政が共に意見・提言し、議論を重ね、平成21年に開館した町立図書館である。

館長を公募制としているため、全国から様々な経験の方からの応募があり、施設の随所に館長特有のアイデアが見受けられ、多くの住民の憩いの場として親しまれている。



【長野県佐久市】

議員提案による「佐久市いじめから子どもを守る条例」の制定について

佐久市では、市、教育委員会、保護者、市民が協力していじめをなくし、子どもたちが安心して生活し、健やかに成長することができるまちづくりを進めため、議員提案による条例を制定した。

条例では、市、教育委員会、学校(教職員)、保護者の責務や、市民の役割を定め、社会全体で子どもが一人の人間として尊重されるための環境づくりを目指している。



議案と結果・賛否

○…賛成、×…反対、欠…欠席をあらわします。

議案番号	件名																		付託委員会
	三村 尚司	田中 良幸	加藤 優	土田 光	堀川 秀樹	西野 有香	東井 忠義	酒井 友季子	林下 豊彦	江端 一高	大門 嘉和	空 美英	福原 敏弘	佐々木 一弥	遠藤 隆	帰山 明朗	石川 修	木村 愛子	末本 幸夫

【8月30日提出・9月22日議決】

議案第66号	令和5年度鯖江市一般会計補正予算(第3号)																		総務・産建・教民
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	可決
議案第75号	地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律に基づく市税条例の特例に関する条例の一部改正について																		総務
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	可決
議案第76号	鯖江市内の幼稚園での事故に係る損害賠償額の決定および和解について																		教育民生
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	可決
議案第77号	財産の取得について																		総務
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	可決
陳情第2号	保育士配置の最低基準の引き上げと、保育予算の大幅な増額を求める意見書の採択を求める陳情書																		教育民生
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	採択

【9月13日提出・9月22日議決】

議案第78号	令和5年度鯖江市一般会計補正予算(第4号)																		総務・産建
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	

【9月22日提出・同日議決】

市会案第5号	保育士配置の最低基準の引き上げと、保育予算の大幅な増額を求める意見書について																		-
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	

※佐々木議長は採決に加わっていません。

【8月30日提出・9月定例会後の継続審査(12月定例会で議決予定)】

議案第67号	令和4年度鯖江市一般会計歳入歳出決算の認定について																		決算特別	継続審査
議案第68号	令和4年度鯖江市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について																		決算特別	継続審査
議案第69号	令和4年度鯖江市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について																		決算特別	継続審査
議案第70号	令和4年度鯖江市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について																		決算特別	継続審査
議案第71号	令和4年度鯖江市総合開発事業特別会計歳入歳出決算の認定について																		決算特別	継続審査
議案第72号	令和4年度鯖江市水道事業会計決算の認定について																		決算特別	継続審査
議案第73号	令和4年度鯖江市公共下水道事業会計決算の認定について																		決算特別	継続審査
議案第74号	令和4年度鯖江市農業集落排水事業会計決算の認定について																		決算特別	継続審査

【次回】 第443回 12月定例会日程(予定)

日付	会期日程	こしの都TV9チャン放送予定 (旧:丹南ケーブルテレビ)
11月29日(水)	10時 本会議(決算審査報告・採決、提案理由説明)	生放送
30日(木)		18時 再放送(11/29本会議分)
12月11日(月)	10時 本会議(質疑、代表・一般質問)	生放送
12日(火)	10時 本会議(一般質問)	生放送
13日(水)	10時 本会議(一般質問)	生放送
14日(木)	9時30分 常任委員会	-
15日(金)	9時30分 常任委員会	18時 再放送(12/11本会議分)
18日(月)		18時 再放送(12/12本会議分)
19日(火)	10時、13時30分 特別委員会	18時 再放送(12/13本会議分)
22日(金)	10時 本会議(委員長報告・採決)	生放送
25日(月)		18時 再放送(12/22本会議分)

※ 進行状況により時間の変更が生じる場合があります。

※ 委員会の放送はありません。

あなたの写真で表紙をかざってみませんか！

あなたの写真が表紙になります！
鯖江市内で撮影された素敵な写真をご応募ください。

表紙に採用された方には、
素敵な賞品(地場産品等5,000円相当)
をプレゼント！



応募する写真

鯖江市内で撮影された人物・風景・行事などの写真

応募方法

お名前、連絡先、写真の撮影場所をご記入の上、議会事務局へEメールか、郵送、またはご持参ください。

*応募フォームからも
ご応募いただけます



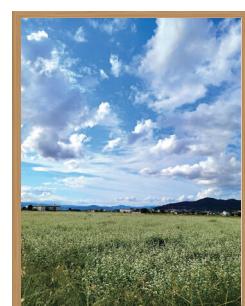
次号の応募締切

令和6年1月22日(月)

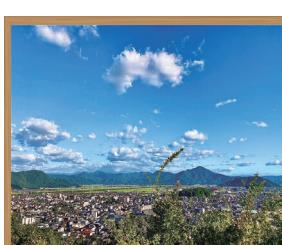


今号は、9月定例会の内容を掲載しており、発行時の状況と一致しない場合があります。

今回の応募作品



ソバさん



高嶋 幸平さん

編集後記



9月中旬まで続いた猛暑ですが、四季の移りは早いもので、この議会報が皆様に届く頃にはもう師走間近に…。コロナ禍もやっと落ち着き秋祭り等の行事も開催され、活気と笑顔が戻りつつありますが、ウクライナ情勢に端を発する物価高騰、そして中東紛争。早く落ち着きを取り戻し、平穏な日常に戻ることを願ってやみません。

さて、今年も残すところ約1か月。これから寒さが一段と厳しくなります。体調管理に充分ご留意のうえ、お過ごしください。

広報副委員長 三村 尚司

